

## 2009 年度第 4 回 JA 北海道厚生連札幌厚生病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2009 年 7 月 15 日(水) 17:00 ~ 18:10
開催場所	JA 北海道厚生連札幌厚生病院 第1会議室
出席委員名	狩野 吉康、大島 脩、妻木 良二、関口 雅友、本谷 聡、森 雅樹、門 正則、金沢 結美、佐藤 繁樹、星 伸昭
<b>議論及び審議結果を含む主な議論の概要</b>	
<b>新規の治験</b>	
<b>議題 1</b>	<b>ヤンセン ファーマ株式会社の依頼による TMC435 の第 II 相試験</b>
<p>これまでに得られている非臨床試験および臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>	
<b>継続中の治験</b>	
<b>議題 1</b>	<b>サノフィ・アベンティス株式会社の依頼による糖尿病患者を対象とした AVE0010 の第 III 相試験</b>
<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>以下の迅速審査について報告された。</p> <p>契約症例数の追加(2009 年 7 月 2 日(木)実施:承認)</p> <p>審議結果:承認</p>	
<b>議題 2</b>	<b>ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による心血管及び腎イベント発症のハイリスク 2 型糖尿病患者を対象とした SPP100(アリスケレン)の第 III 相試験</b>
<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告および当該治験薬に関係する研究報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>当院で発生した重篤な有害事象(3 件)について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>症例報告書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>審議結果:承認</p>	
<b>議題 3</b>	<b>田辺三菱製薬株式会社の依頼によるクローン病を対象とした TA-650 の第 III 相試験</b>
<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告および海外添付文書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>審議結果:承認</p>	
<b>議題 4</b>	<b>アポット ジャパン株式会社の依頼による日本人クローン病患者を対象とした D2E7 の第 II/III 相試験</b>
<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>治験薬概要書および同意説明文書の変更の妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>	
<b>議題 5</b>	<b>アポット ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたアダリムマブ(D2E7)の第 II/III 相試験</b>
<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>治験薬概要書および同意説明文書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>審議結果:承認</p>	
<b>議題 6</b>	<b>ヤンセン ファーマ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした CNT0148 の第 II/III 相試験</b>
<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告および当該治験薬に関係する外国措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要</p>	

	と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 治験薬概要書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	審議結果:承認
<b>議題 7</b>	<b>ヤンセン ファーマ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした CNT0148 の第 III 相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告および当該治験薬に関係する外国措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 治験薬概要書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	審議結果:承認
<b>議題 8</b>	<b>味の素株式会社の依頼によるクローン病を対象とした AJM300 の第 II/III相試験</b>
	当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験実施計画書、同意説明文書の変更および被験者募集の手順の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	審議結果:承認
<b>議題 9</b>	<b>味の素株式会社の依頼による AJM300 の第 II 相試験</b>
	ポスターおよび被験者募集の手順の妥当性について審議した。
	審議結果:承認
<b>議題 10</b>	<b>ソルベイ製薬株式会社の依頼による慢性膵炎非代償期又は膵切除による膵外分泌機能不全に対する SA-001 の第 III 相試験(二重盲検群間比較試験)</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	審議結果:承認
<b>議題 11</b>	<b>ソルベイ製薬株式会社の依頼による慢性膵炎非代償期又は膵切除による膵外分泌機能不全に対する SA-001 の第 III 相試験(長期投与試験)</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	審議結果:承認
<b>議題 12</b>	<b>興和株式会社の依頼による C 型肝炎ウイルス陽性肝細胞がん根治患者を対象とした NIK-333 の第 II/III相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。
	審議結果:承認
<b>議題 13</b>	<b>シェリング・プラウ株式会社の依頼による IFN 治療歴のある C 型慢性肝炎患者を対象とした SCH 54031 の第 III 相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。
	審議結果:承認
<b>議題 14</b>	<b>田辺三菱製薬株式会社の依頼による C 型慢性肝炎(初回治療例)を対象とした MP-424 の第 III 相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。
	審議結果:承認
<b>議題 15</b>	<b>田辺三菱製薬株式会社の依頼による C 型慢性肝炎(前治療後再燃例)を対象とした MP-424 の第 III 相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が

	示された。
	審議結果:承認
<b>議題 16</b>	<b>田辺三菱製薬株式会社の依頼による C 型慢性肝炎(前治療無効例)を対象とした MP-424 の第Ⅲ相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。
	審議結果:承認
<b>議題 17</b>	<b>ブリistol・マイヤーズ株式会社の依頼による進行肝細胞癌患者を対象とした BMS-582664 の第Ⅲ相試験(BRISK FL 試験)</b>
	2009年6月17日(水)の治験審査委員会で修正の上承認となった事項(同意説明文書の一部修正)について、2009年6月22日(月)に院長が確認し、契約締結されたことが報告された。
<b>議題 18</b>	<b>ブリistol・マイヤーズ株式会社の依頼による進行肝細胞癌患者を対象とした BMS-582664 の第Ⅲ相試験(BRISK TA 試験)</b>
	2009年6月17日(水)の治験審査委員会で修正の上承認となった事項(同意説明文書の一部修正)について、2009年6月22日(月)に院長が確認し、契約締結されたことが報告された。
<b>議題 19</b>	<b>中外製薬株式会社の依頼による B 型慢性肝炎患者を対象とした Ro25-8310(ペグインターフェロンアルファ-2a)の第Ⅱ/Ⅲ相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告および当該治験薬に関係する外国措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 治験実施計画書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	審議結果:承認
<b>議題 20</b>	<b>東レ株式会社の依頼による TRK-820 の第Ⅱ相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。
	審議結果:承認
<b>議題 21</b>	<b>グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした SK&amp;F-105517-D の第Ⅰ/Ⅱ相試験</b>
	治験の終了について報告された。
<b>議題 22</b>	<b>ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による慢性閉塞性肺疾患患者を対象とした QAB149 の第Ⅲ相試験(二重盲検試験)</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
	審議結果:承認
<b>議題 23</b>	<b>ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による慢性閉塞性肺疾患患者を対象とした QAB149 の第Ⅲ相試験(長期投与試験)</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。
	審議結果:承認
<b>議題 24</b>	<b>あすか製薬株式会社の依頼による AKP-004(カプセル剤)の臨床薬理試験(薬物動態)</b>
	軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
<b>議題 25</b>	<b>あすか製薬株式会社の依頼による AKP-004(カプセル剤)の臨床薬理試験(薬力学)</b>
	軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
<b>議題 26</b>	<b>第一三共株式会社の依頼による人工膝関節全置換術施行患者を対象とした DU-176b の第Ⅲ相試験</b>
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

審議結果:承認	
議題 27	ヤンセン ファーマ株式会社の依頼による带状疱疹後神経痛、CRPS 又は術後疼痛症候群を対象とした JNS020QD の第Ⅲ相試験(二重盲検比較試験)
当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。	
審議結果:承認	
<b>【製造販売後調査】</b>	
報告事項:終了 1 件	
審議事項:新規 2 件承認	
<b>【特記事項】</b>	